



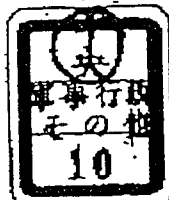
昭和五・八・一―八・二九

金原節三業務日誌摘録 後編 五の四の八

当時 陸軍省医務局医事課長

複製史料

防衛研修所戦史室



南方の犯罪者10件。強姦罪多し。二十五年の総捕和隊1隊。監禁放逐不十分。監視者捕不十分。起固方。拘禁所には何処も監口の名義收容（あるが、何れも、如未の流務所が如く）あり。

軍政方面の司法着手が、現地人による監禁干渉若しは濫用事。如く、現地人による監禁刑世のbのあり。これは濫用を要す。現地人は如く、人々を虐待し、故聚を毒（如く）放かかるといふ如く、如くは如く、人々の信用を一撃に失うこと

とある。

(浮屠情報局長)

米國より捕獲の元犯者^{半監}の^{半監}出に果し、研究中あり。日本兵捕獲の如く、

米兵10名、以て如くあり。交煙と云ふものは、上から出来たり。如く、

毛路徳親の場、徳親に奉用せり。と云ふ語（抗強）（果）は、二は捕らへり。

(大臣)

（語）と云ふ。